

コンサル型ITソリューションカンパニー
～現場を知り抜いてこそITの活かし方が分かる～

弊社会社概要と事業内容のご紹介



personal

2025年10月30日

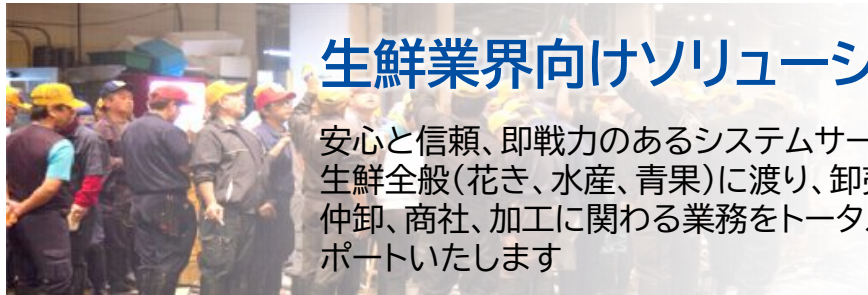
パーソナル情報システム株式会社

■ 会社概要

personal パーソナル情報システム株式会社

会社設立	1972年4月12日
資本金	1億円
事業所	【本社】 東京都港区虎ノ門1-21-19 TEL 03-6880-7211 FAX 03-6880-7212 【大阪支店】 大阪市北区曽根崎新地2-6-24 TEL 06-6454-1022 FAX 06-6110-5975
代表者	代表取締役社長 森本 晋司
URL	http://www.pjs.co.jp

■ 事業内容



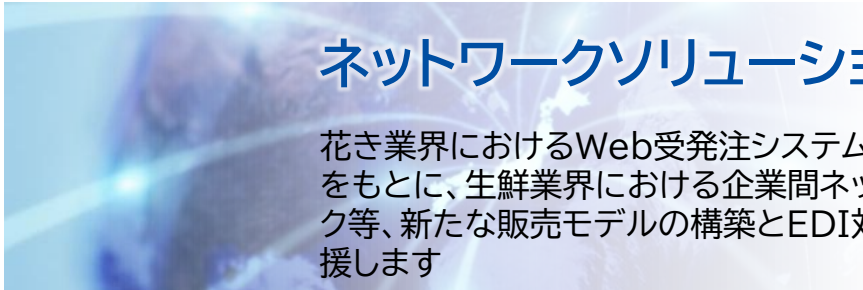
生鮮業界向けソリューション

安心と信頼、即戦力のあるシステムサービスで、生鮮全般(花き、水産、青果)に渡り、卸売市場、仲卸、商社、加工に関わる業務をトータルサポートいたします



ERPソリューション

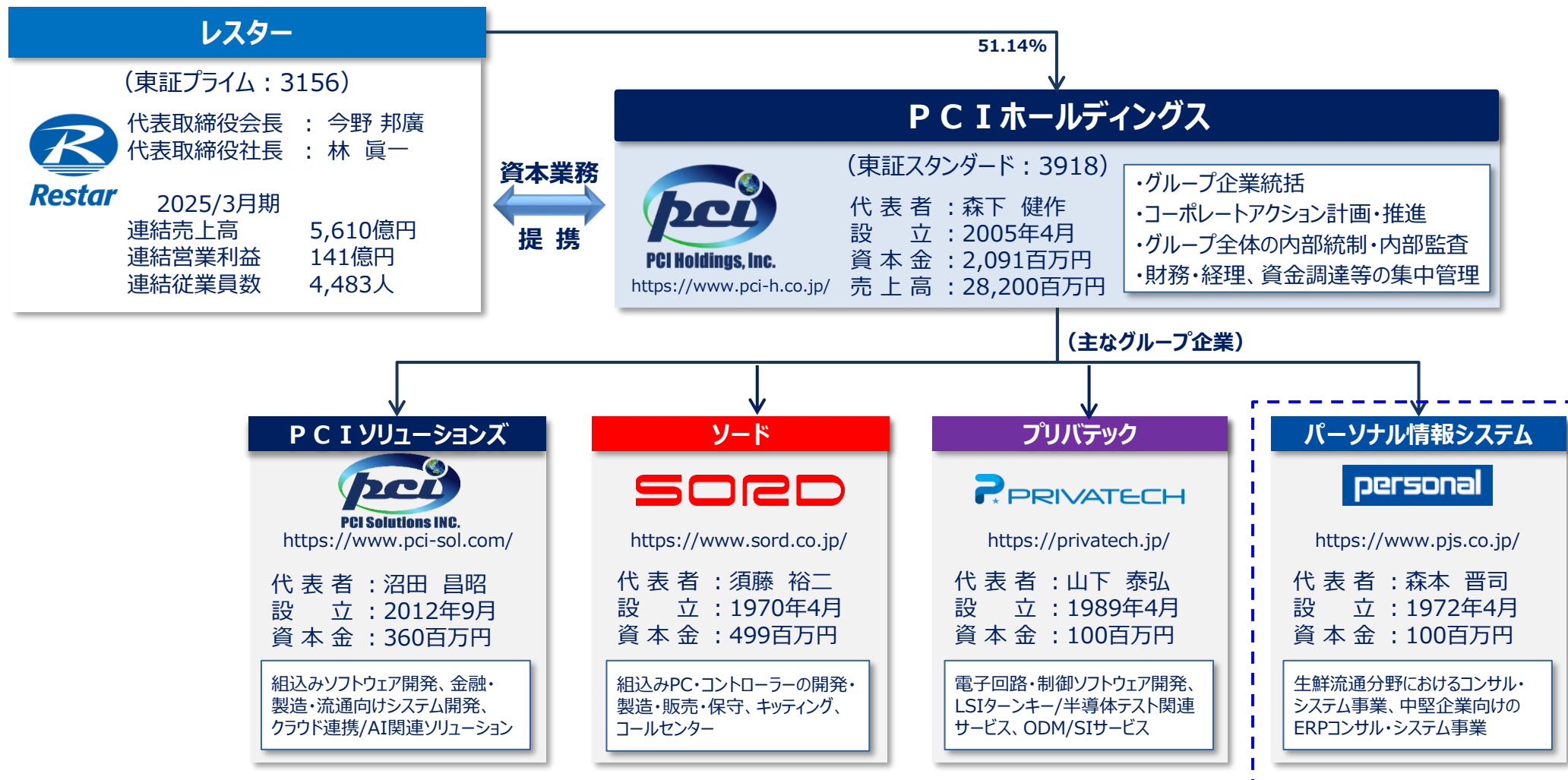
グローバルなERPであるSAP、純国産のGRANDIT、mcframe等、中堅企業に対応した各種ERPを取り揃え、予算内で最大の効果を得る提案をいたします



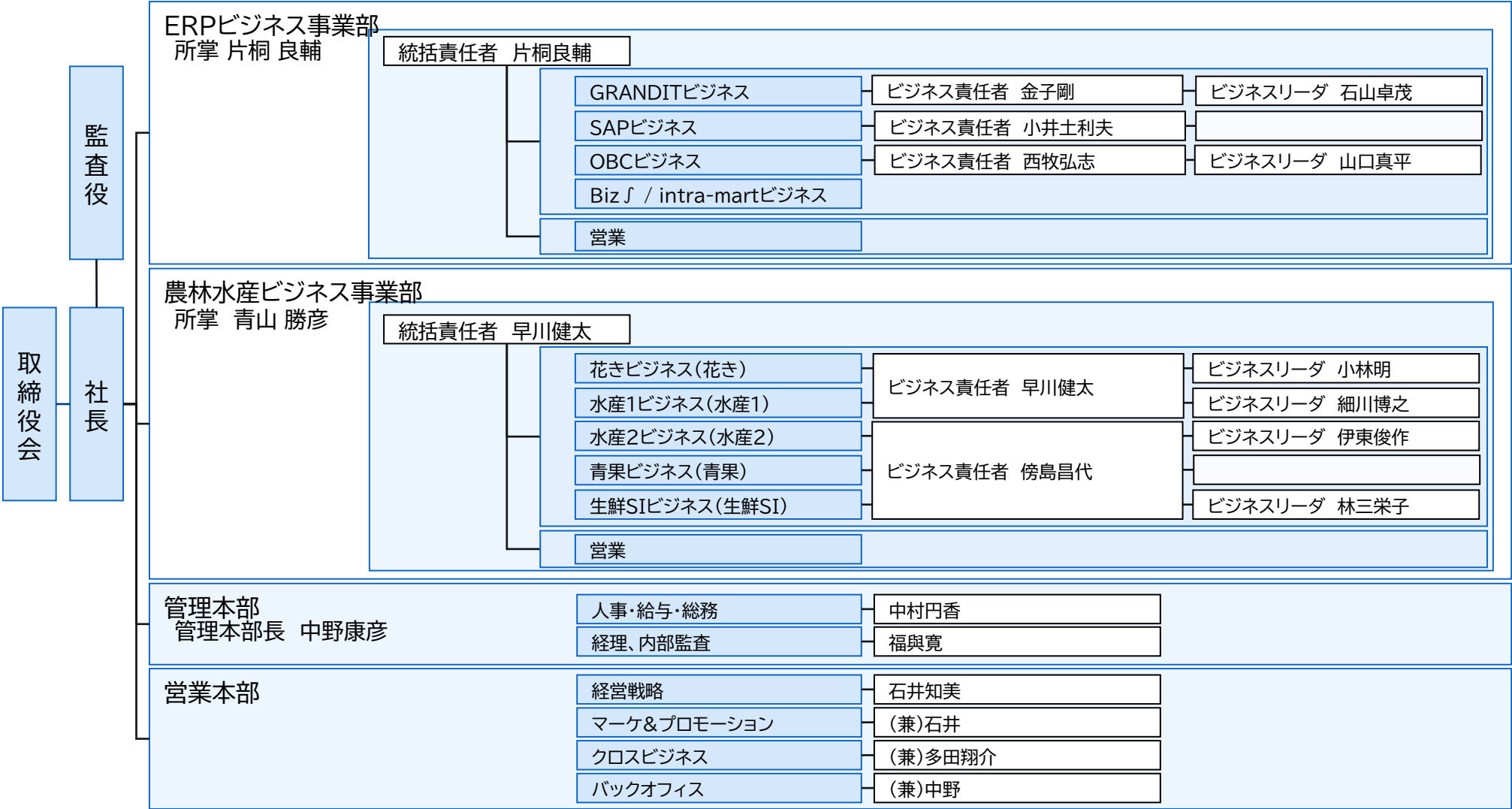
ネットワークソリューション

花き業界におけるWeb受発注システムの実績をもとに、生鮮業界における企業間ネットワーク等、新たな販売モデルの構築とEDI対応を支援します

■ レスターグループ概要



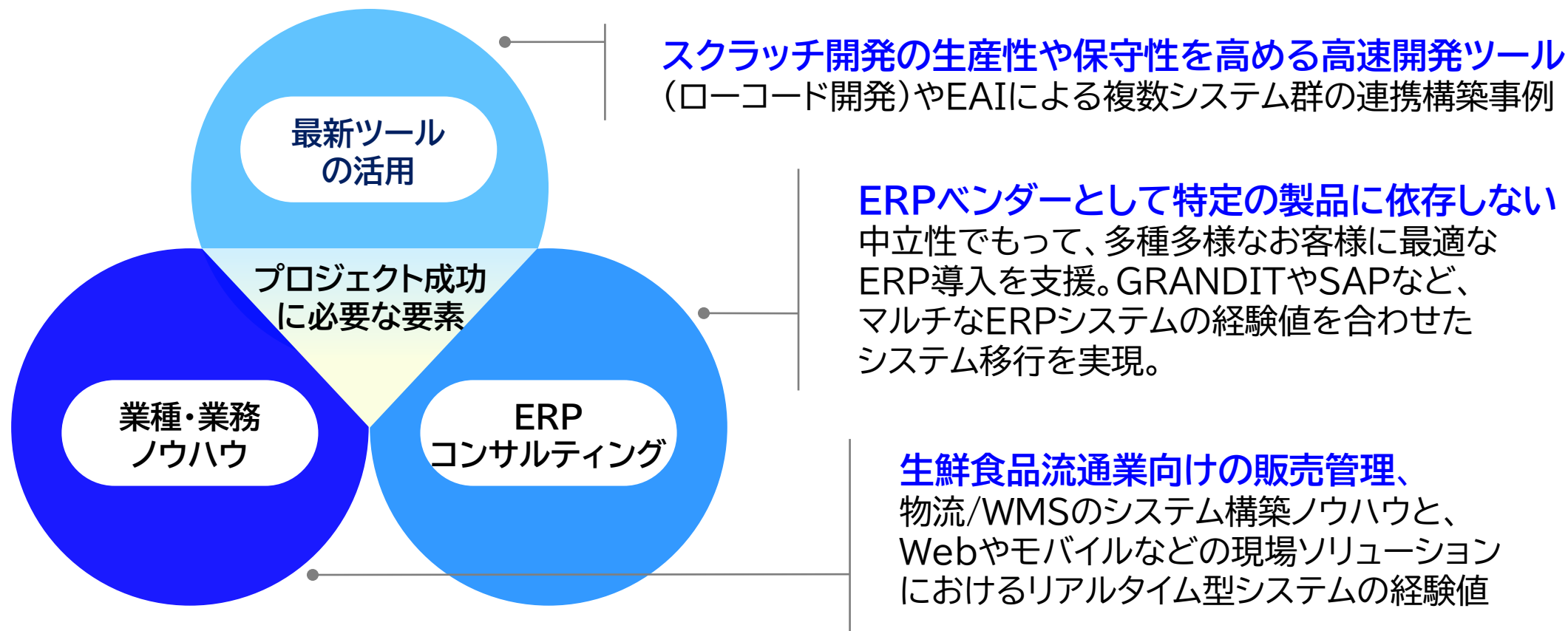
組織体制



■ 弊社の強み

貴社の新システム構築の目的達成に向けては、ERPによる全体最適の知見、および生鮮流通/食品流通における業種業務知見による開発品質や生産性の担保が必要となると考えております。

弊社の強み要素やノウハウを最大限活用し、貴社のビジネスパートナーとして貢献したいと考えております。



弊社イベント紹介:全国生鮮流通フォーラム

personal

近日
開催!!



開催日程
2025年11月13日(木)・14日(金) 13:00~16:00

参加方法
事前お申込制
※お申込方法は裏面をご覧ください

会場
豊洲市場 7街区管理施設棟1階講堂

主催 パーソナル情報システム株式会社
協力 一般社団法人豊洲市場協会



電車をご利用の場合
・東京臨海新交通臨海線
(ゆりかもめ)「市場前駅」すぐ

バスをご利用の場合
・都営バス(市01、南12-2)
「豊洲市場」下車すぐ
・都営バス(都05-2)
「新豊洲駅前」下車し、徒歩12分

■駅から会場への行き方

- ①ゆりかもめ「市場前」改札前の看板を左方向に
- ②管理施設棟方向に歩きます
- ③7街区管理施設棟の1階が会場の講堂です

情報交換会開催
11月13日(木) 16:30~
@ラビスタ東京ベイ
フォーラムにご参加いただいた方は参加無料

予約受付中

詳しくは中面または
HPをご覧ください▶▶▶



2025年11月13日(木) 13:00~16:00

基調講演

「持続的な食品流通の確立に向けて」

食品流通は、農業と消費者を繋ぐ役割を担っており、国民への食料の安定供給や地域経済の維持・発展に重要なだけでなく、我が国の食生活の豊さを支えている。農業者の減少・高齢化は著しく進展し、また、人口減少に伴う国内市場の縮小は避けがたい中、食品流通の重要性に鑑み、その持続的発展を図るための方策を考える。

農林水産省大臣官房新事業・食品産業部
食品流通課 卸売市場室長 鈴木 裕 氏

パネルディスカッション

テーマ：地域産地の育成と広域市場間連携

司会 流通ジャーナリスト 浅沼 進 氏

農林水産省大臣官房新事業・食品産業部
食品流通課 卸売市場室長 鈴木 裕 氏

株式会社 R&Cながの青果 代表取締役社長 堀 陽介 氏

八戸中央青果株式会社 代表取締役会長 横町 芳隆 氏

2025年11月14日(金) 13:00~16:00

基調講演

「水産物卸売市場流通の未来像を考える」 ～不確実性・多様性・効率性の狭間で～

水産資源の減少や水揚げ魚種の激変などの供給側の不確実性の高まり、道の駅や水産物電子商取引の進展にみられる流通チャネルの多様化、ICT活用やIT・AI技術の進展にもよる水産物DXの進展を背景とする流通効率化への要求の高まりなど、水産物卸売市場を取り巻く環境が急速に変化しつつあります。今後、卸売市場が水産物サプライチェーンの安定化・最適化のハブとして機能するためには、どのような役割と機能の再構築が必要か、どのような戦略的対応が求められるか、などについて皆様とともに考えてみたいと思います。

東京海洋大学 副学長 婁 小波 氏

パネルディスカッション

テーマ：水産市場の関東広域のあり方について

司会 流通ジャーナリスト 浅沼 進 氏

築地魚市場株式会社 代表取締役会長 吉田 猛 氏

横浜丸魚株式会社 専務取締役 源波 秀樹 氏

常洋水産株式会社 会長 大谷 勉 氏

弊社ソリューション紹介:生鮮流通

全体図

生鮮流通サプライチェーンの各シーンに合わせて多数のソリューションをご提供しています。

市場流通取引系

生鮮卸売市場システム

卸売市場（中央/地方、産地/消費地）向けの販売管理システム。競り・相対から先取受注まで、市場商習慣や現場物流に特化した総合システム。

生鮮Web取引システム

入荷予定商品のWeb販売や、生産者による産直型の企画注文商品のWeb販売システム。卸売市場システムと連動し、業務需要に特化した販売ツール。

セリシステム/在宅セリシステム

花き業界で培った機械セリシステム/在宅セリシステム。インターネット環境さえあれば、どこからでもセリ販売に参加が可能。

生鮮商社/仲卸システム

卸売市場内の仲卸業務に適した販売管理システム。売上先行で即時別在庫管理が可能。タブレットで売場入力も。生鮮業界に特化した販売管理システム。

生産者・出荷者対応系

生産者向け送り状入力システム

産地-市場間EDIクラウドシステム。送り状EDI、集荷指示、共通出荷ラベル、仕切ターンアラウンドを実現。

生鮮輸入商社向け荷割システム

Web荷割りシステム。送り状EDI、商品荷割入力、荷割物流センター指示、物流実績ターンアラウンドを実現。

市場流通・物流(DX系)

RFIDゲート一括検品システム

RFIDタグを活用したゲート一括検品システム。APIを活用して各種物流システムと連動が可能。

QRコード一括検品システム

QRコードを活用し、高性能画像認識カメラで一括検品が可能。APIを活用して各種物流システム連動が可能。

自動運転搬送(AGV)システム

市場内・物流倉庫内における台車搬送をAGVを活用して省人省力化物流を実現。

モバイル(スマホ検品システム)

ハンディだけでなく、スマホを活用した物流検品・販売・画像撮影・置き場管理など、物流現場のDX化を実現。

モバイル取引系

生鮮受発注システム on LINE

LINEを活用して、産地-市場間、市場-仲卸間における販売や入札を実現。EDIと販売を両立したモバイルDX。

量販・物流センター系

量販店向け生鮮WMS

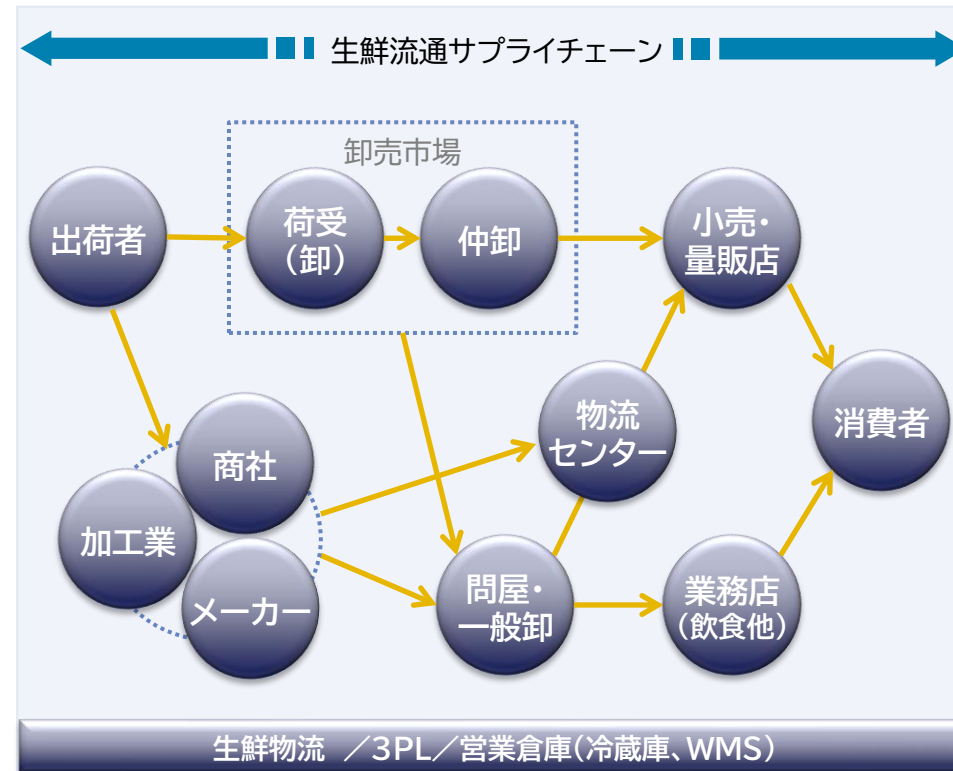
量販店物流における多店舗への商品振分入力や、均等割りや前詰めなどの自動振分機能で物流作業の効率化を実現。

スマート種まきピッキングシステム

量販店物流センターで、商品のピース小分けをする「種まきピッキング」を、スマホとタブレットによって業務改善を実現。

物流会社向けシステム

生鮮物流会社様向け集出荷システム。集荷～集荷手配～配送指示～売上請求処理。ドライバーへの集荷指示や配送先への送り状送付も。



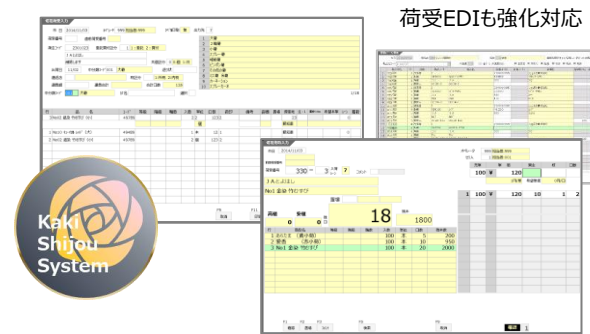
弊社ソリューション紹介:生鮮流通

市場流通取引系/ モバイル取引系

生鮮卸売市場システム

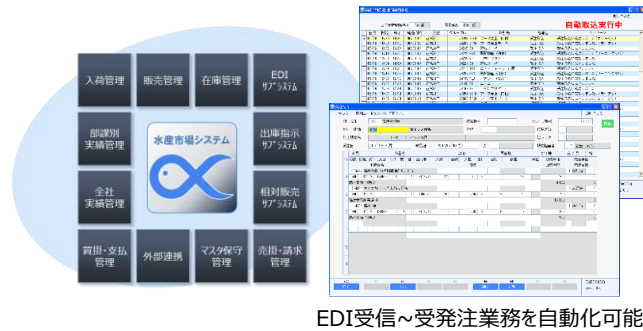
花き・青果市場システム

花き・青果市場向け、基幹系トータルシステム。(現場～販売管理)
前身システムより、完全リニューアルしてから早3年。
おかげさまでたくさんのお客様にご導入いただいております。安定・安価導入可能な、今イチ押しのパッケージシステム。複数拠点対応などをご希望のお客様には、本システムをコアにしたカスタマイズバージョンもご提供可能です。



水産市場システム

水産市場向け、基幹系トータルシステム。(現場～販売管理)
長年、多くの水産市場に携わって参りましたエンジニアのノウハウを詰め込んだ、事例と歴史のあるパッケージシステムです。今回、おかげさまで、安定・安価導入可能に整いました。これからの水産市場のニーズに合わせたコンセプトで、イチ押しのパッケージシステム。特に、EDI対応機能は、情報システム部門様でメンテナンス可能なので、継続維持もローコスト。



生鮮Web取引システム

入荷予定情報を限られた買受人様にインターネット公開でき、注文を受け付けることができます。会員側も、すぐ注文結果を確認でき、データをダウンロード活用していただけます。公開途中で、公開数や表示単価を変更したりすることが可能です。



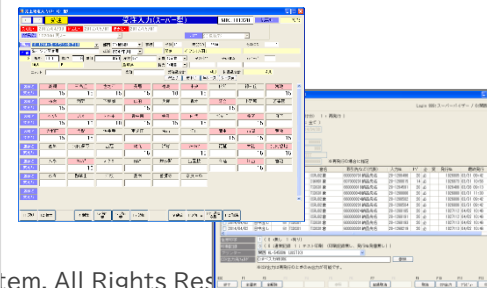
セリシステム/在宅セリシステム

花き市場向け、せり場運用サブシステム/在宅セリシステム事例。
従来型機械セリシステムを、総入れ替えしたいお客様にぜひご覧いただきたいシステム。買参人端末から、せり現場の端末まで、タブレット利用、クラウド環境にせりエンジンを構築することでハードウェアのローコストを実現。
もちろん、従来の機械せりシステム機能に加え、在宅のお客様にもリアルタイム入札参加して頂けるようになったシステム。



生鮮商社/仲卸システム

水産仲卸システム/商社・問屋業向けシステム
・水産仲卸業向け基幹システム。(現場～販売管理)
・生鮮問屋業向け基幹システム。
生鮮品ならではの商品管理でありながら、商社的な商品管理・問屋的な商品管理と「2way在庫管理」を実現。



生鮮受発注システム on LINE



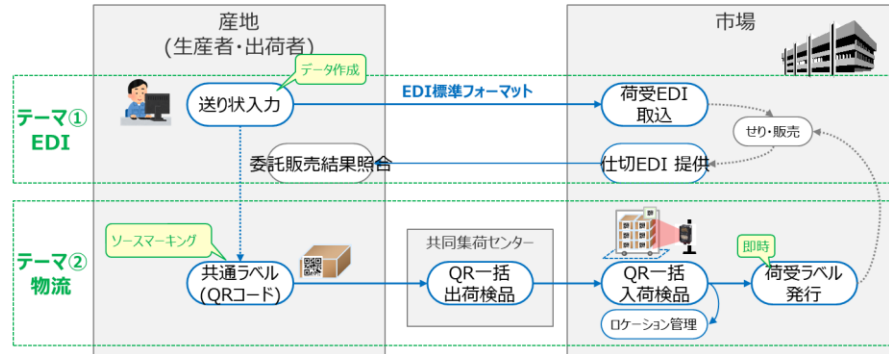
弊社ソリューション紹介:生鮮流通

生産者・出荷者対応系

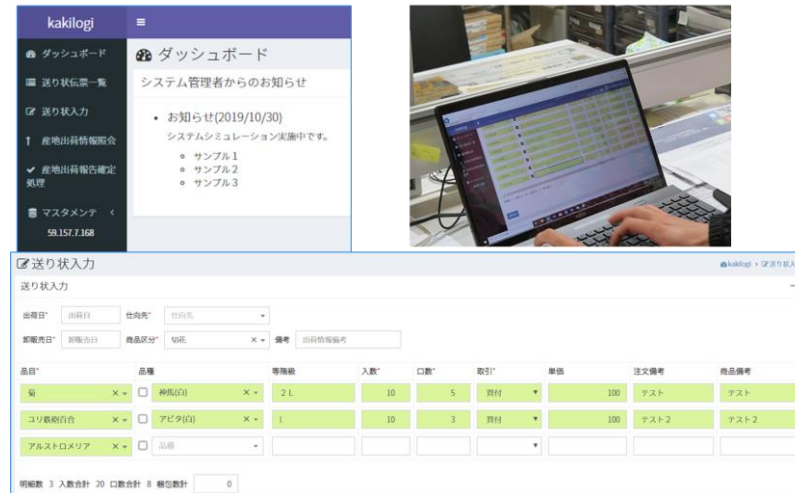
生産者向け送り状入力システム

出荷者による送り状入力によるEDIの実現と、QRコードを活用した一括検品による業務効率化の検証

- ①：EDI（EDI標準フォーマットでの荷受合理化）
 - 産地出荷情報入力支援
 - 産地からの出荷情報EDI
 - 産地への仕切情報EDI
- ②：物流（IT活用による高度化・流通システム転換）
 - 共通QRラベルによる、産地でのソースマーキング
 - QRコードリーダー（一括読取装置）の活用
 - 場内ロケーション（鉢物）管理にもQRコード活用



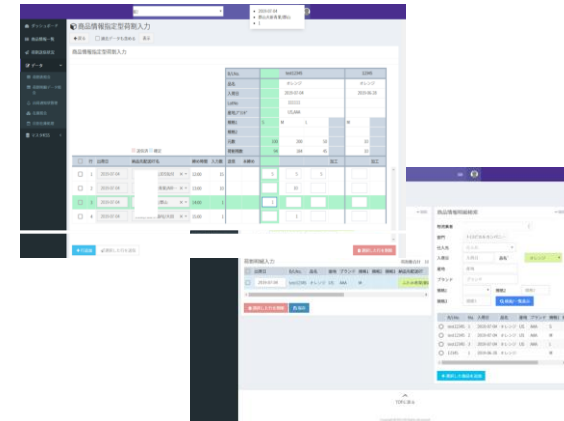
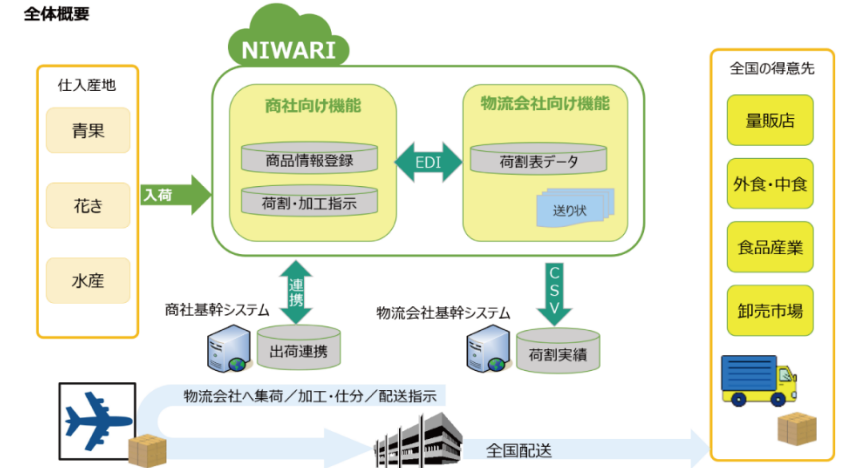
生産者・出荷者様に、ブラウザから送り状情報を入力して頂くためのクラウドサービス。



生鮮輸入商社向け荷割システム

輸入商社と物流会社の荷割業務連携を支援するエッジリッチなソリューション。

全体概要



荷割作業のペーパーレス化

同時に複数の物流業者へリアルタイムに

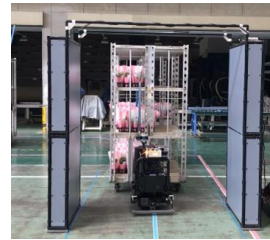
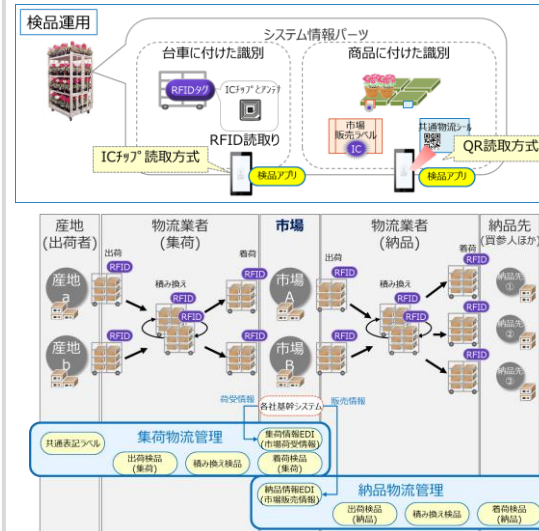
物流業者との業務連携強化

様々な荷割指示入力に対応

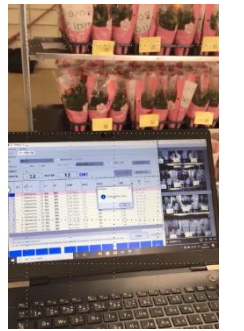
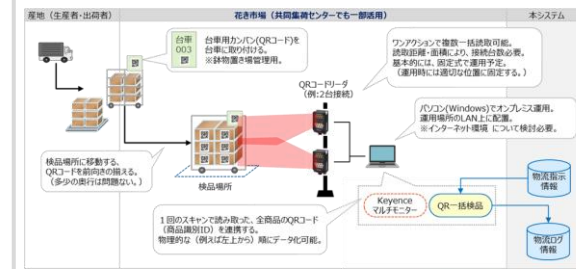
基幹連携による、二重入力の削減

ブラウザなのに、「伝票入力しやすいWeb画面」と「マトリクス型Web画面の実現」

RFIDゲート一括検品システム



QRコード一括検品システム



自動運転搬送(AGV)システム

無人搬送機による搬送後、RFIDアプリ読取による分荷検収を実施。



モバイル(スマホ)検品システム



物流会社向けシステム

運送事業や運送会社様向けに開発された集出荷システム。
集荷～集荷手配～配送指示～売上請求処理まで、花き・青果運送
会社様向けに最適。

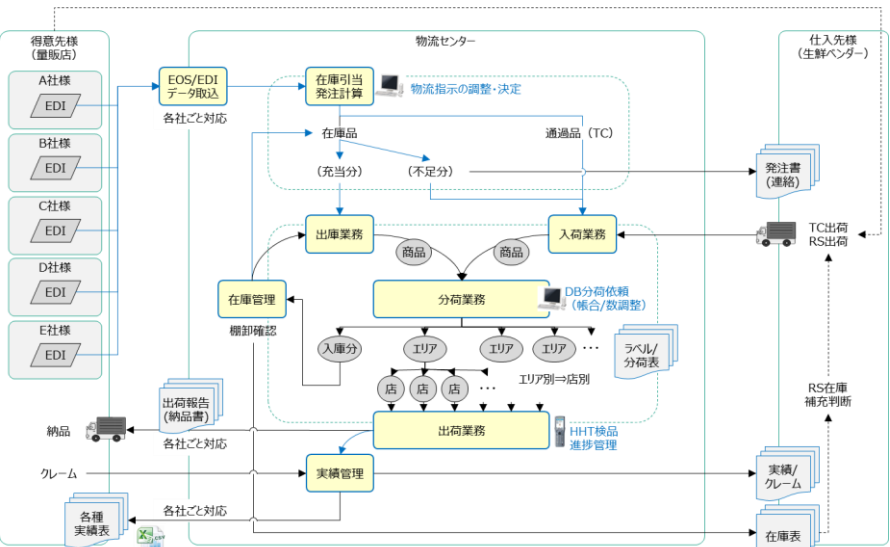


弊社ソリューション紹介:生鮮流通

生鮮WMS/ 物流センター現場系

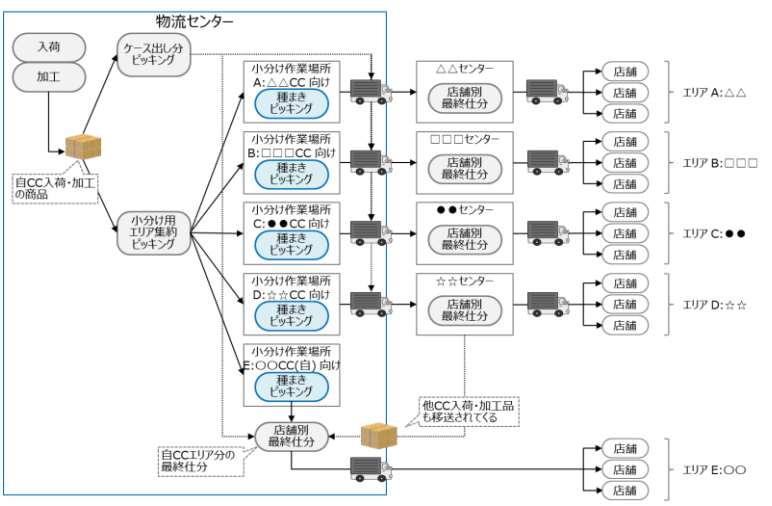
量販店向け生鮮WMS（倉庫管理）システム

量販店物流センターにおける生鮮WMSシステムとして、EDIデータ取込、在庫引当・発注計算、分荷処理、出荷検品に対応。



スマート種まきピッキングシステム

量販店物流センターで、生鮮品のピース小分けをする「種まきピッキング」の業務を改善



iPhone & SIM & ウェアラブルバーコードスキャナ

種まきピッキング

iPad & SIM

進捗モニター

Dエリア向け種まき作業場所

店舗が多い振分け向き。集計情報で、仕入に引き当てて、別画面で分荷する。均等割りや前詰めなどの自動振分機能もあり。

SIM搭載だから
公衆通信で利用可

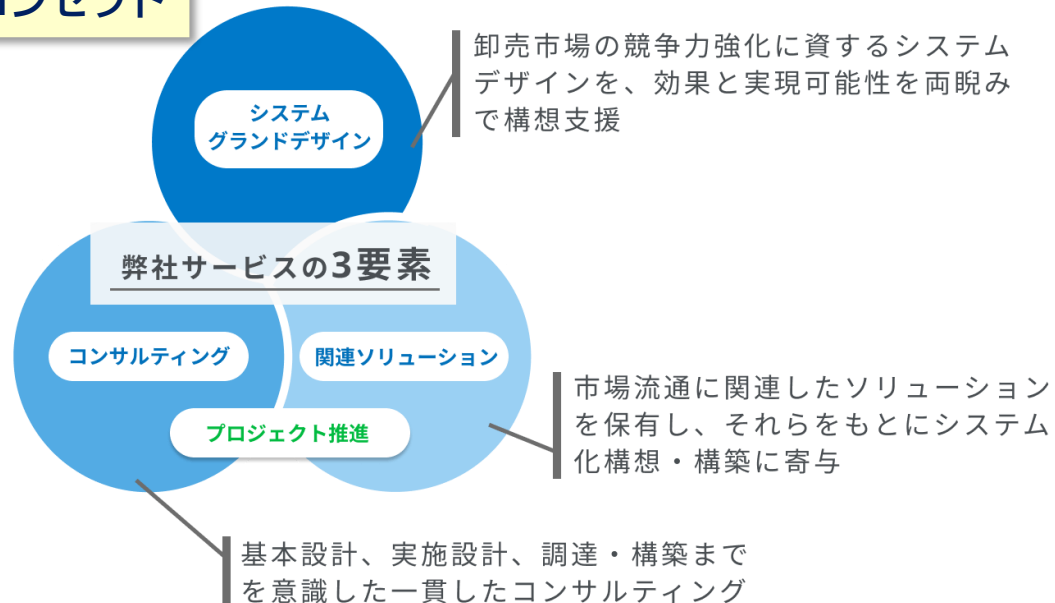
クラウド&モバイルで実現。
先進デジタルピッキング!!

弊社ソリューション紹介:市場再整備コンサルティング

概要

市場再編、設備老朽化の流れを受け、卸売市場再整備が全国で進む中、旧来の卸売市場法の整備計画を意識した再整備計画ではなく、食品流通構造改革促進法に沿った整備計画が必要となっています。ハード・ソフトともに「物流の効率化」「衛生管理」「情報ネットワーク」「輸出」といったキーワードを絡め市場の競争力を高める再整備計画が求められています。策定するという、新しい課題が開設者様・入場業者様に求められています。弊社では、様々な調査・提言やシステムコンサルティングを行ってきた歴史の中で培ってきた経験をもとに、卸売市場に関わるステークホルダー様向けにコンサルティングを行っています。

提案コンセプト



サービス一覧

① 卸売市場再整備コンサルティング

- ・ 再整備計画の策定
- ・ 基本設計支援
- ・ 実施設計支援
- ・ 公募調達支援 etc

② 卸売市場関連ITグランドデザインコンサルティング

- ・ 全体構想化フェーズデザイン
- ・ 物流システムプロジェクト
- ・ 精算システム共同化プロジェクト
- ・ 市場共通データベースプロジェクト etc

③ 補助事業計画・実施支援コンサルティング

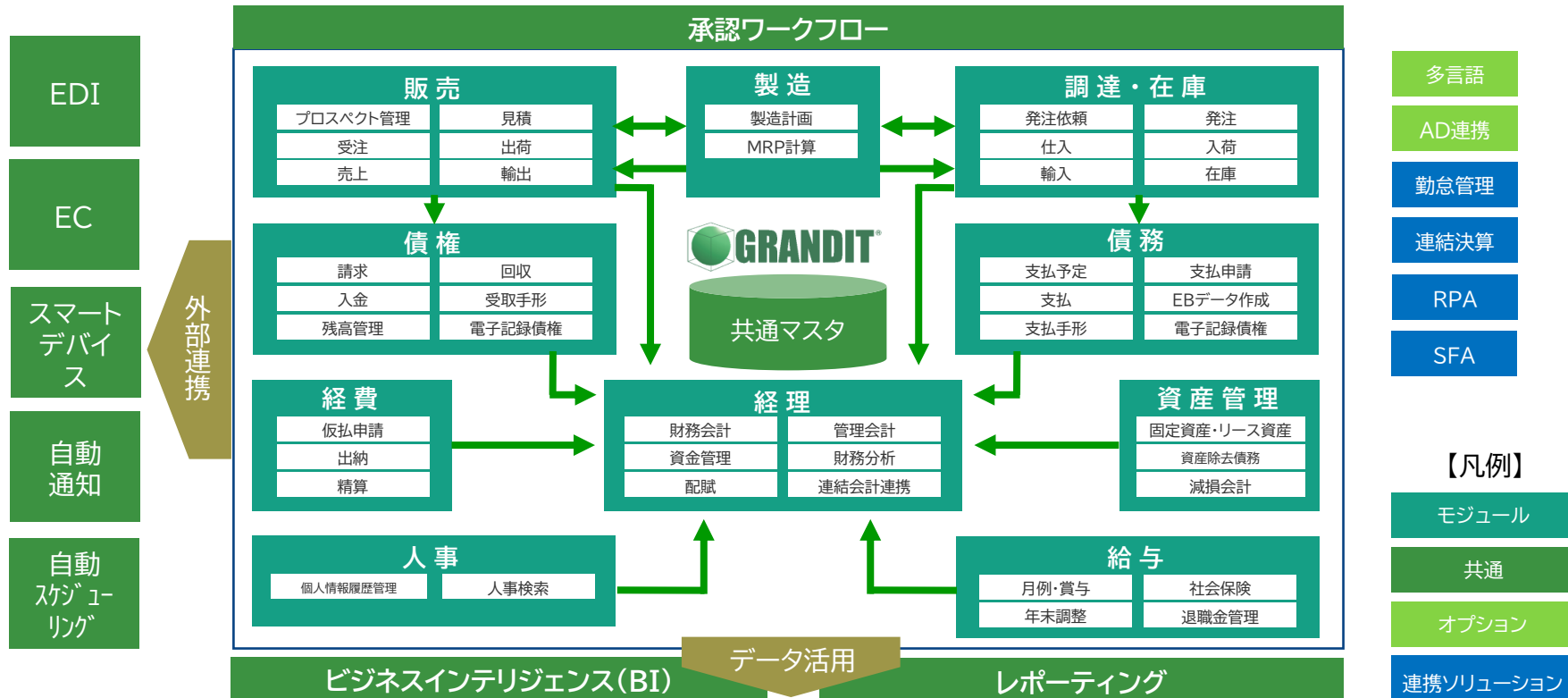
- ・ 官公庁補助事業活用計画／実施支援
- ・ 自治体補助事業活用計画／実施支援 etc

弊社ソリューション紹介:ERP

基幹業務の枠を超えた統合型ERP

基幹業務を網羅した11モジュールで構成し、モジュール間の【完全密結合】と【完全連携】を実現しています

- 共通、経理、債権、債務、経費、資産管理、販売、製造、調達在庫、人事、給与の11モジュールで基幹業務をカバー
- 従来は外付け機能であったワークフロー等を内部連携機能として、業務モジュールに同一設計思想の統合ワークフロー、ビジネスインテリジェンス、自動通知、スマートデバイス、EC機能などを統合
- 11モジュールより個社単位に選択して導入することが可能。勤怠管理、連結決算 等 11モジュール以外の機能は、GRANDITと密連携するアライアンス製品より選択



●ECサイト連携テンプレート

ネット通販を企業経営に直結。ERPを中核とした業務の標準化と事業の根幹である「ECシステム」との緊密な連携で今後の事業拡大や変革に対応できるシステム。



●食品・生鮮流通業テンプレート

食品卸売業界特有の業務機能群を備えたテンプレート。標準的なERPで実現が難しいお客様固有業務や商慣習に応じた業務機能を、より効率的かつ効果的にシステム導入を実現。



●プロジェクト原価管理テンプレート

工事進行基準対応などプロジェクト管理が必要となる「情報サービス業」「建設・工事業」向けに、プロジェクト毎の収支管理・個別原価管理の進捗の可視化を実現。



『便利×手軽』に利用できる
統合型クラウドERP

事例

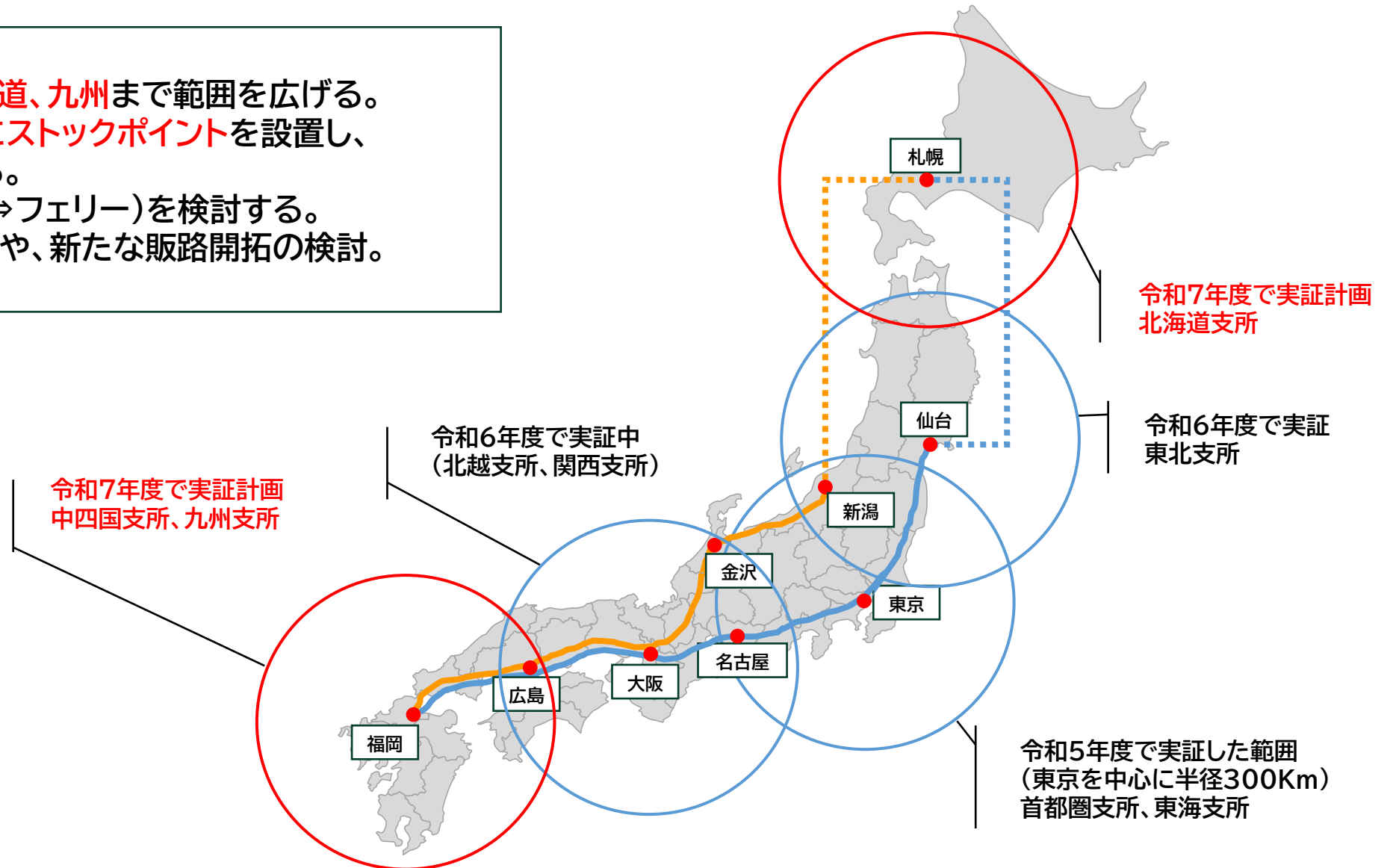
流通効率化の取り組み事例

農林水産省：
令和7年度 持続可能な生産強化対策事業のうち
ジャパンフラワー強化プロジェクト推進事業
「ストックポイントを活用した
流通の効率的な輸送体制構築等実証・検討事業」

令和7年度 2024年問題に対応した実証計画

令和7年度は、

- ・実証範囲を広域化し北海道、九州まで範囲を広げる。
- ・新たに札幌、広島、福岡にストックポイントを設置し、中継可能な範囲を広げる。
- ・モーダルシフト(トラック⇒フェリー)を検討する。
- ・航空貨物便との比較検証や、新たな販路開拓の検討。



R7実証実験のポイント

①新規中継物流の検討(スケジュール)

- ✓実証実験および検討委員会を通してモーダルシフト(トラック⇒フェリー)を見据えたスケジュールの合理性、可能性を評価する。
- ✓輸送時間、作業時間を計測し課題を検討する。
- ✓輸送温度の計測および品質の確認を行い中継輸送の課題を検討する。

②航空貨物便との比較検証や、中継物流のコスト検討

- ✓実証実験を通じて航空貨物便との比較検証、フェリーを使用した輸送のコストを検証し中継物流のコストについて検討する。

③ソースマーキング・RFIDラベルを用いた検品の検証

- ✓ハンディスキャナ指向性や端末操作の改良を行い運用について検討する。
- ✓RFIDラベルの湿気による破損への改良を行い運用について検討する。

④統一規格台車の運用の検討

- ✓実証実験を通して使用面の課題を検討する。
- ✓運用コストを算出し、今後の運用の在り方を検討する。

実証実験内容(1回目の場合)

出荷者

ソースマーキング

花きEDI標準フォーマットによる荷受入力
RFIDラベル貼付、ハンディ出荷検品による
商品管理、検品検収のデジタル化



産地



①荷受情報入力



②RFIDラベル発行



③RFIDラベル貼付



④RFIDハンディ検品

運送(集荷)



QRスマホ
積込検品



積込

札幌花き園芸株式会社 (北海道)

RFIDゲート荷受検収

トレーサビリティ

輸送情報を可視化



RFIDゲート荷受検品

札幌で1泊

各ストックポイントで 実施

RFIDハンディ
荷受検収

トレーサビリティ

輸送情報を可視化



積込時RFIDハンディで
荷受検品



市場

RFIDゲート/ RFIDハンディ
荷受検収

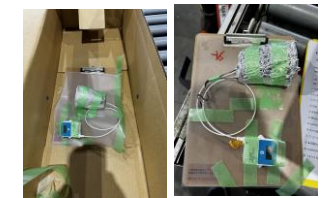
花満
RFIDゲート荷受検品



福岡花市場
RFIDハンディ荷受検品



産地～市場 全行程の温度を記録



段ボールの中と外にデータログを設置

第1回目実証実験「夏」 行程

第1回目実証実験(夏季予定) 東→西

月曜日出荷で金曜日販売を想定したスケジュール。

・日本海ルート

8月18日(月)～8月21日(木)

小樽～新潟フェリーを利用

新潟～仙台

新潟～福岡 陸送

・太平洋ルート

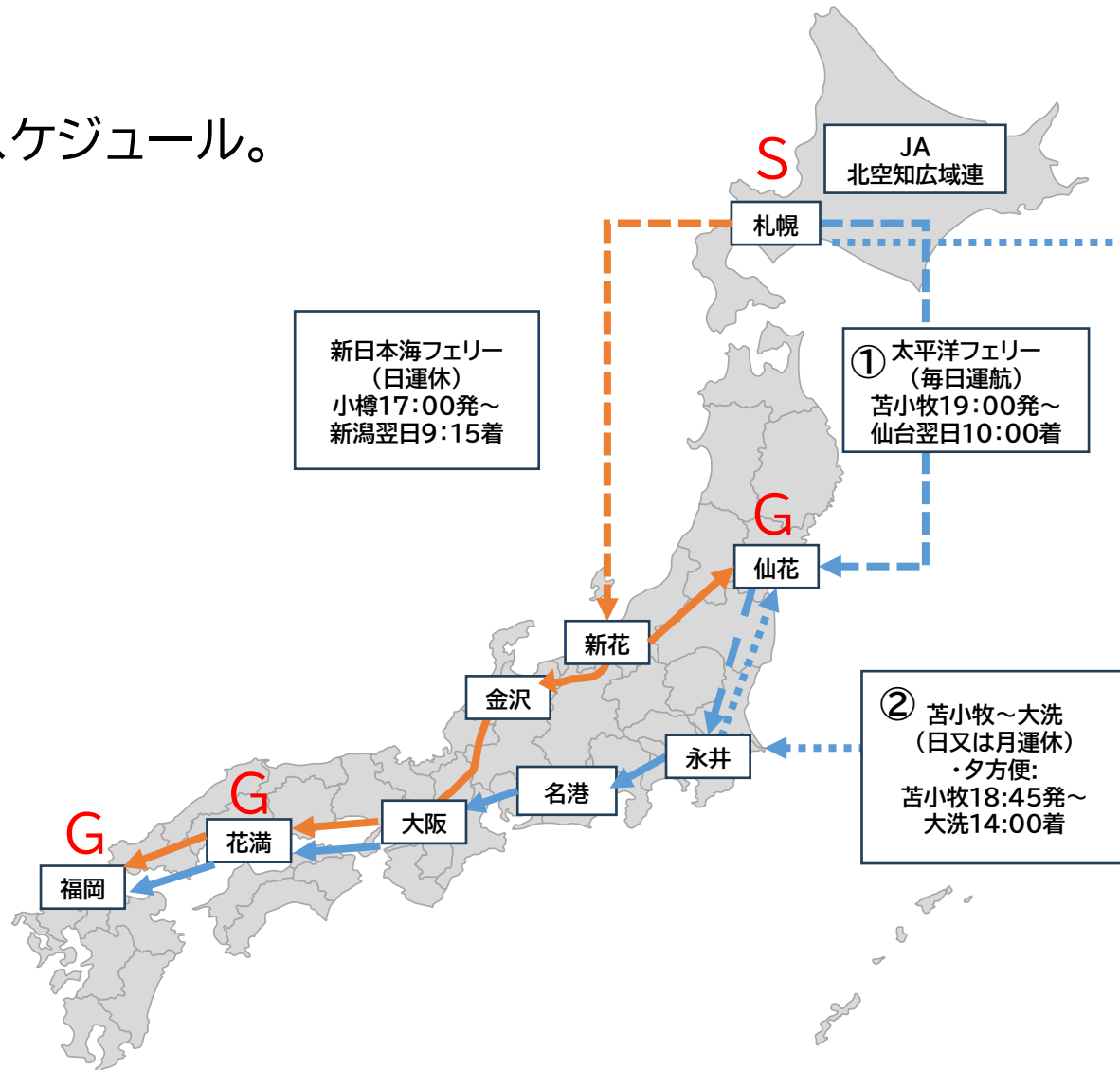
8月25日(月)～8月28日(木)

① 苫小牧～仙台フェリー

② 苫小牧～大洗フェリー

2つの航路フェリーを利用

東京・仙台～福岡 陸送



第2回目実証実験「冬」 行程

第2回目実証実験(冬季予定) 西→東

- ・日本海ルート(仮)

1月26日(月)～30日(金)

新潟～小樽フェリー使用

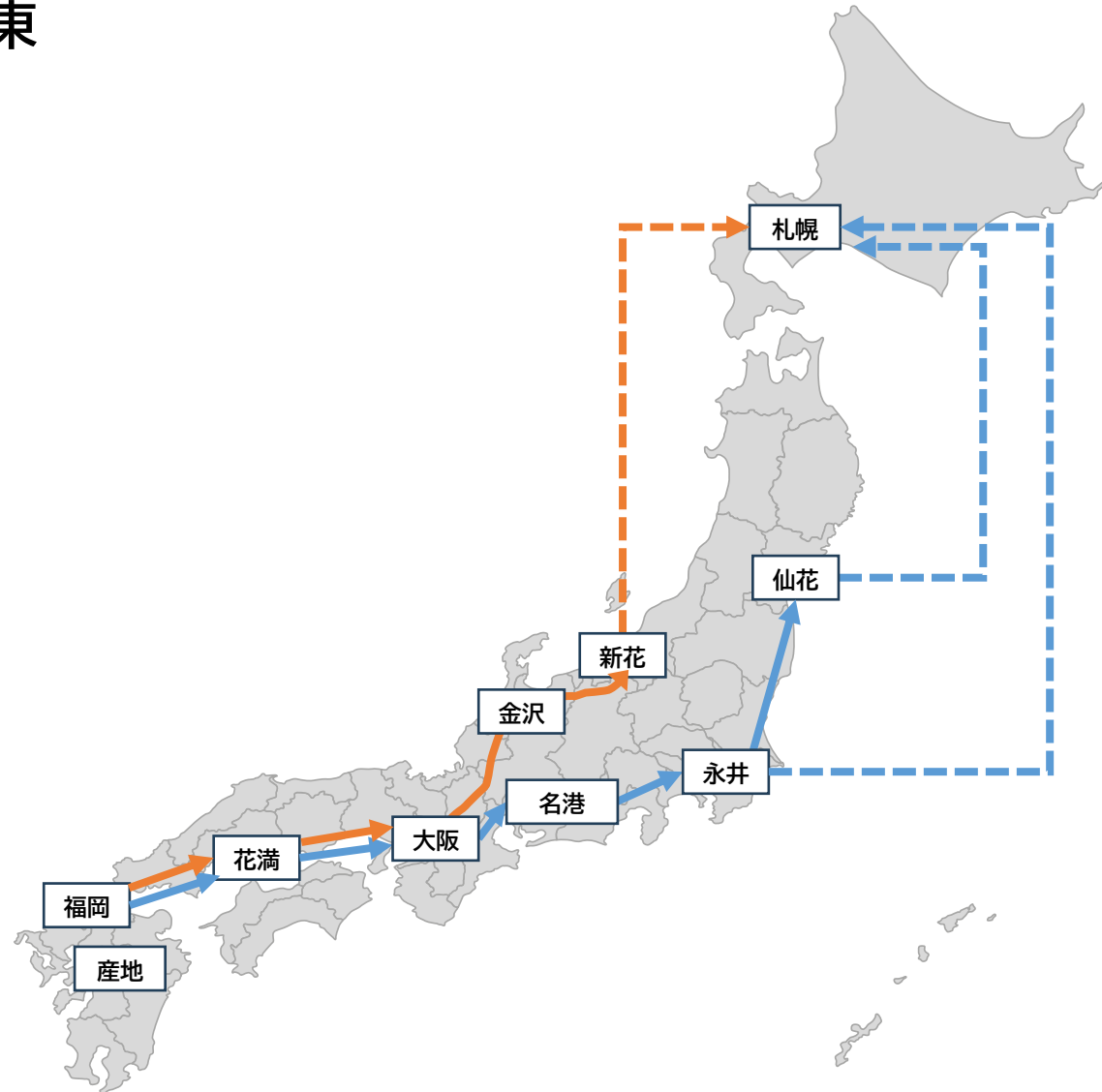
- ・太平洋ルート(仮)

2月2日(月)～6日(金)

仙台～苫小牧フェリー

大洗～苫小牧フェリー

両方使用



EOF